



あさがおレース 7月10日



第2レーススタート直前の激しい場所取り

今回も最初は微風で後から若干風が出てきたパターンでした。とてつもない暑さで本部艇は必要時以外走り回って涼まないと耐えられないほどでした。朝に弱いノクチルカ編集員が遅刻して淡パトに乗りそこなったため本部艇からの映像をお送りします(たまにはこの方角もいいか・・・)。



IRC優勝

チビズル



IRC2位

EMI



オープン優勝

TWO TON



オープン2位

キラキラ



リュウセイ6



響



久しぶりにクラブレースの参加のアプローズ

成績表

クラス	艇名	艇種	順位
IRC	チビズル	SEAM31	1
IRC	EMI	Mumu36	2
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	3
OA	TWOTON	J92j	1
OA	キラキラ	Y31S	2
OA	響	Y262T	3
OA	アプローズ	DEH34	4
OA	YAJIROBEY	J-24	5

ファミリーレース 8月7日

有志の寄付でまかなわれているウェルカムパーティの花火

今年のファミリーレースはスタート時は風が弱かったが後半はいい風になりレース迫力のレースとなりました。

ウェルカムパーティでは、有志の寄付で行われた花火が打ちあがり、フラダンスやバンドの演奏があり楽しめました。

ウェルカムパーティでの華やかなハワイアンダンス



Bクラス優勝フチスター

Wingと上を追い抜くグラシヤス。この直後、強い風によりWingのスピンは真つに裂けた



下マーク付近でフローチング寸前のキラキラ。



Aクラス優勝アルビレオ5大型レース艇は迫力あります



下マーク回航直前キラキラがSEAGULLの風上突破を図るもSEAGULLが先行した



スピンを張って疾走するBクラス3位グラシヤス



Aクラス2位のガイナール



強い風を受けて大きくヒールするシートレック



いらっしゃ〜い 船客淡来



カナダ艇「Quiver」

5月31日

5月31日午後3時ころ、以前から淡輪寄港の情報がモンキーの森下さんから寄せられていた、カナダ艇「Quiver」(発音キバー?)が入港し、居合わせた柿原さんが船いをとりました。

乗り組みは Mr. Jim Burgoyne および Ms. Lynne Picard のお二人ですが、Lynneさんはゆっくりする暇もなく、6月2日、空路カナダへ帰国されます。

Jimさんは淡輪に2週間ほど滞在し艇を整備したうえ、アラスカ向け出港の予定です。

本日(6月1日)午後、私とポカポカの近藤さん両名で艇を訪問しましたが、艇には不在で詳細を聞くことはできませんでした。

東日本大震災の影響で今年は外国艇の寄港は期待薄と思っていたところですから、まさに貴重なお客様です。友好を深めてください。停泊のバースは大型バース、平戸の向かい合わせの場所です。

艇は28ftのこじんまりしたスループです。 吉田記

アラスカに向け出航 2011. 6. 14

梅雨の淡輪で2週間、ウェルカムパーティーやプチクルで「さかた」の淡路牛などで楽しく過ごしたジムさんでしたが、6月14日0800、柿原、近藤、西井、吉田の見送りを受けて、バンクーバー向け出港しました。

奥さんは一足早く空路帰国、ジムさんだけのシングルハンドで、歴代来淡外国艇中最小の28フィートで、梅雨前線を突っ切り、震災漂流物を避けながらのしんどい航海。皆さんのホスピタリティーに感謝しながら海に乗り出しました。

なお、「はやて」がハーバー沖まで伴走して名残りを惜しみました。 吉田記

みんなで記念撮影



出港するカナダ艇「Quiver」

バイバイ！
気をつけてね！
航海の安全を祈ります

巨大なスピンを張るマーチクルージングタイプでも大型だと迫力あります



いつものんびり走っている

会長艇 Pukk Pukk

が疾走するのは珍しいのであえて掲載しました。(乗航されるとき以外で白波を蹴立てるのは珍しい...)



プロローディング寸前のトトロ。この直後たまたまずスピンをおろした



サザン6の迫力のある走り



ファミリーレース成績 (上位のみ記載)

Aクラス (参加17艇)

順位	艇名	艇種
1	アルビレオ5	ベネツファースト IMS 40.7
2	ガイナーゲル	マム36
3	アーリーバード	シム31

Bクラス (参加12艇)

順位	艇名	艇種
1	プチスター	J-24
2	ホライズン	ファースト 30 クラスチャレンジ
3	グラシヤス	Fs-28

トワイライトレース

7月30日



イーゼル芸術工房の松井さん（中央）の素敵な笑顔

7月30日に行われたトワイライトレースは、レースは無風により中止となったが、アフターパーティーは生バンドの演奏のもと大いに盛り上がりました。企画・運営を担当していただいた響さんありがとうございました。



イーゼル芸術工房の生バンド
とおいしい料理が並びます



アフターパーティーがはじまりましたが、谷理事は夢の中へ行きそう・・・



盛り上がってくるパーティー



盛り上がりすぎ？
大はしやぎの海燕今井氏

ディンギーレース

9月25日



参加人員の不足により今シーズン全レースが中止かと思われたが、EMIチームの山口選手の参加により唯一開催となったディンギーレースが9月に行われた。

古谷選手が安定した走りで3レースとも1位で優勝。朝に弱いK選手が第一レース遅刻（あまりにも遅いので淡パトにも引っ張ってもらえず置いてきぼりに・・・）によりDNCとなったが、四ヶ所選手の痛恨のマークタッチによりタナボタで2位。四ヶ所選手は第2レースでのマークタッチが響き3位。初参加ながら健闘した山口選手が4位。健闘したが長尾選手が5位となった。

ディンギーはヨットの技術向上にも役に立つのでクルーザーチームの方もどしどし参加してください。



スタートする各艇



優勝した古谷選手

成績表

選手名	艇種	順位
古谷	シーホッパーII	1
高野	シーホッパーII	2
四ヶ所	シーホッパーII	3
山口	シーホッパーII	4
長尾	シーホッパーII	5